

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	49	豊田市立 井上小 学校	代表	平岩 英明
------	----	-------------	----	-------

※分野【a: 国際交流・国際理解, b: 地域連携, c: 自然体験, d: 環境教育, e: 学力向上, f: 交流体験, g: 福祉・ボランティア, h: 伝統文化, その他()】から選ぶ。

テーマ	豊かな心と学びの創出	分野	b	地域連携
	サブテーマ 自立と共生の基礎づくり	(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点(ねらい)	<p>「生きる力」を育むため、「学び合い育ち合う活動」を通して、お互いを尊重し、協調しながら学習を進めていく。そのためには、子ども同士や地域の方々との関わりを深めながら「自立と共生」を図る。しかし、集団の中には様々な考え方や特徴をもった子どもがおり、学習を進めるに当たって個人差が生じたり、トラブルが発生したりすることも考えられる。そういった課題を、子どもが自立・共生を学ぶためのチャンスととらえ、指導に生かしていく。</p> <p>学び合いを進めていくには、担任一人では集団対応と個人対応、学習準備を同時に行うことが困難であり、様々な立場の職員が子どもの活動や学習補助・心の教育・環境整備などの支援をしていく必要がある。そこで、この事業を活用し、子どもの活動が安全・安心・円滑に進むように体制の整備を図るとともに、必要な物資を整え、豊かな学びを創出する。</p>			
活動内容・計画	<p>1 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りや地域の〈ひと・もの・こと〉を活用して、探究的な学習を進める。 実際に現地に行き見聞きしたり、地域講師やボランティアの方々にご支援をいただいたりしながら学習を進める。 地域の人材を積極的に活用できるように、地域人材バンクを作成し活用する。 学習を通して、コミュニケーション力、判断・思考力、実践力を養う。 <p>2 計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生(前期)アサガオの世話や観察を行う。夏休みには家庭にアサガオを持ち帰り世話をする。 (後期)地域の高齢者を講師として招き、「昔の遊びを教えてください会」を実施する。地域の方との交流を深め、豊かな人間性を学ぶ。 2年生(前期)保護者や地域講師の協力を得て植物の栽培方法を学ぶ。収穫時にはお世話になった方々を招いて共に収穫の喜びを味わう。 (後期)自分の成長について調べ、地域の方や家族への感謝の気持ちをお世話になった人や1年生を招いて、発表や実践を行う。 3年生(通年)井上のまちを探検したり、まちの名人にインタビューする活動を通して、地域に関心をもち、井上のまちのよさに気付く。 4年生(通年)地球環境の問題について考え、自分が地域のためにできることは何かを追究し実践する力を養う。 5年生(通年)これまでの災害の様子や井上のまちの様子から、今後起こりうる災害について考え、防災対策について発信する力を養う。 6年生(通年)ゆりのき班活動・地域の福祉施設との交流を通して、人と助け合おうとする態度や命の尊さ、家族や地域社会を尊重する態度を養う。 校内にある池を、ピオトープとして整備し、理科や生活科の授業で活用する。 			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> 上記活動の植物の成長の観察活動をするための環境整備を行うため(校内整備員) 			
実績・期待される効果	<p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人材を地域講師としたゆりのき学習や生活科の学習、行事を行うことにより、学校と地域の連携を深めるとともに子どもたちの学習意欲を高めることができる。また、保護者や地域の方々に教育活動をご理解いただき、ゆりのき学習以外での連携も深まる。 調べる・まとめるだけでなく、「もっと学校や地域をよくするためには」という課題に対して、実践力を高める学習にまで発展させることができる。 ゆりのき学習や生活科の学習を中心に特色ある学校づくり事業に関連したすべての学年の活動を学校のホームページで紹介している。アクセス数が年々増えつつあるため、多くの保護者から理解と協力を得ることができるであろう。 			
検証方法	<p>次の3点により今年度の取組を検証していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがゆりのき学習や生活科の学習を進めていく過程と学習後に振り返りを行い、ねらいの達成状況や子どもたちの成長の様子を捉え、次年度へと生かしていく。 特色ある学校づくり推進事業に関する評価が前年度よりアップしているかどうか、保護者アンケートで検証する。 学校のホームページの更新回数とアクセス数が前年度よりも増えているかどうかで検証する。 <p>(期待される効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な立場の職員で子どもたちの活動を支援することで、活動体制を整え、学びを充実することができる。 			